

本学における新型コロナウイルス感染症の発症状況および感染対策の徹底について

全国各地で新型コロナウイルス感染症陽性者が増加傾向にありますが、本学においても、陽性者または濃厚接触者に認定されたという情報が学生から日々届いています。

本学の陽性者または濃厚接触者と認定された学生は、学内における授業等でのクラスター発生ではなく、年末年始に地元へ帰省し、家族や友人に会った際に濃厚接触者となり陽性が判明した、または、成人式や同窓会などに出席後、体調不良となり陽性が判明した学生です。

今後、本学としては、感染した学生のケアを行い、自治体、保健所等の関係機関と連携しながら、必要な措置を講じ、感染の予防および拡大防止に努めていきます。感染した方の一日も早い回復をお祈りしますとともに、感染者やそのご家族の人権尊重と個人情報保護にご理解とご配慮をお願いいたします。

また、後期授業につきましては、現在終盤を迎え、成績評価等に係るまとめのテスト等が実施されておりますが、感染対策を十分に講じたうえで、引き続き「対面授業」を実施してまいります。

なお、あらためて以下のとおり感染防止対策を示しますので、これらの事項を厳守して学生生活を送るようお願いいたします。

- (1) 基本的な感染防止対策として、マスクの着用、手洗い、うがい、手指消毒を徹底して下さい。
- (2) 大学に出校する前に、必ず検温と健康チェックを行って下さい。37.5℃以上の熱がある場合や体調が優れない場合は無理して出校せず、まずはキャリア支援課に連絡して下さい。
- (3) 厚生労働省の定義では、感染者との接触が、① マスクなしの状態で、② 1メートル以内の範囲で、③ 15分以上の時間あった場合に濃厚接触者と認定されることになっています。まずはこのような状況を作らないようにして下さい。
- (4) (3) のような状況は、飲食をする場面が最も多く該当しますので、複数人での会食は控えるようにして下さい。学生食堂等を利用する場合には、可能な限り（できれば1メートル以上）周囲の人と距離を取り、黙食を心掛け、15分以内に済ませるようにして下さい。
- (5) 各学舎の出入口に消毒液を設置しています。入出館の際は、必ず手指消毒をするよう徹底して下さい。
- (6) マスクの着用について、鼻を出したままであったり、あごまで下げたままであったりする学生を多く見かけます。マスクは正しく着用して下さい。